

平成30年度通常総会 開催



平成30年6月12日（火）アジュール竹芝16F「曙」にて、当協会の平成30年度通常総会が開催されました。総会は正会員74名のうち出席者61名（うち代理、委任状によるもの36名を含む）を得て開催されました。

まず、司会の伊藤事務局長が開会を宣言し、出席者数を報告し総会が成立する旨を告げ、片岡代表理事の開会の挨拶のあと、議長は藤井常任理事に、議事録署名人は鳥井理事と照井理事にお願いすることが全員一致で決まり、議事に入りました。

第1号議案「平成29年度 事業報告」と第2号議案「平成29年度 収支決算報告」は、伊藤事務局長から資料に

基づき説明があり審議され、収支決算内容については、澤邊監事より監査結果が適法且つ妥当である旨の報告があり、異議なく可決承認されました。第3号議案「規程改正」は入退会の手続き、入会金及び会費納入等に関する規程改正について説明があり承認されました。第4号議案「任期満了に伴う理事、監事の選任」は、第16期役員体制の任期満了に伴う、第17期理事及び監事の選任案について選任を求めるもので、1名ずつ可決承認が行われました。

以上をもって議事を終了し、閉会いたしました。



司会:伊藤 広 事務局長



議長:藤井 慶太 常任理事

片岡代表理事の挨拶

本日は、平成30年度通常総会の開催に当たり、会員の皆様には大変お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。平素から私ども協会の業務各般にわたりまして、ご指導ご支援ご協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて本日の総会では、29年度の事業報告、決算報告の審議並びに30年度の事業計画、収支予算を報告することとなっております。詳細は後程事務局長から説明させていただきますが、私からは当協会の現状と当面の重要課題についてご報告いたします。

まず当協会の中核事業であります防犯設備士制度事業についてであります。昨年度は、防犯設備士事業25周年、防犯設備士養成講習・資格認定試験100回を迎えた記念すべき年でありました。本年3月に開催されたSECURITY SHOW2018でのパネルディスカッションや記念式典等を開催し、多数の関係者の方々にご出席いただきました。その席で当協会の30年余にわたる防犯設備の普及促進や警察と連携した様々な防犯活動など、その社会貢献や功労が認められ、警察庁長官表彰をいただきました。これもひとえに会員の皆様のご尽力の賜物であります。心から御礼申し上げます。

さて、受験者数は平成25年度を底として、4年連続して増加しており、資格取得者数についても累計で2万7000人を超えました。上位資格である総合防犯設備士についても昨年度久しぶりに2桁台の23人が合格し、低迷を脱した感があり今後に期待が持てます。

もう一つの制度事業でありますRBSS認定事業ですが、これも平成20年のスタート以来着実に認定数が増加し、自治体等の入札で仕様書に記載されるなどその認知度は高まってきております。特に防犯カメラは、ひったくりや車上狙い、路上強盗などの街頭犯罪の大幅減少に大きく貢献しています。防犯カメラなどの画像が犯人特定の端緒となり、まさに防犯カメラが捜査



代表理事:片岡 義篤

の武器となって検挙率が上昇し、高い確率で逮捕されるため、割に合わない犯罪となり、それが抑止効果につながっているのではないかとの見方ができます。このように防犯カメラは検挙だけでなく、抑止効果も高いことが裏付けられます。日防設が行っているRBSS制度は、今年発足10周年を迎えます。節目の年でもありますので、防犯カメラを一層普及するために、その有用性をもっと社会に広め、RBSSの認知度、貢献度も一層高めていきます。

こうした現状の中で、当面の重要な課題2点について申し上げます。

まず、第1点は、資格更新制度の関係です。防犯設備士の方は、技術の進歩、犯罪情勢の変化等に対応した常に最新の知識を持って、業務に遂行すべきであるとの考えで、平成25年度以降に防犯設備士の資格を取得された方には3年ごとの資格更新を義務付けています。しかし、平成24年度以前に取得された皆様方は、資格更新を義務付けておらず、任意としております。

また、現在防犯設備士テキストの大改訂を進めており、来年4月には従来のものから大きく刷新した『テキスト』を発行する予定です。犯罪形態の変化や防犯設備機器の進歩に合わせ、特殊詐欺やスーカークリミナル

保坂会長の退任挨拶(藤井常任理事の代読)

退任にあたり、一言で挨拶申し上げます。

私は2年前の平成28年6月に公益社団法人 日本防犯設備協会の会長に就任いたしました。

この2年を振り返りますと、防犯設備士の受験者が回復傾向となり、財政状況が改善してきたことにより、積極路線へ切り替えたということが大きな特徴だったかと思います。

皆様ご存じのように、片岡代表理事も私と同時に平成28年6月に就任され、今申し上げた積極路線へ舵を切り、未設置県への地域協会設立活動や総合防犯設備士の講習認定試験を再開し、更には、テキスト大改訂の推進、会報誌の年4回への復活、防犯設備士表彰の新規制定、業務支援システムの再構築とホームページ全面改訂等、協会活動の陣頭指揮をとっていただき大変活性化しているので、協会の活動はこれから更に良い方向へ向かって進んでいくものと期待しております。

また、防犯設備士制度25周年・資格認定試験100回記念にあたり、警察庁長官賞をいただいたことは大変光栄で、これは一重にこれまで協会活動を支えてくださった講師や委員会の皆さんをはじめ、会員・関係団体の皆様のご支援のお蔭であり、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

防犯設備士事業としては、平成28年度から更新事業が始まりましたし、RBSSも今年で10年目を迎え、防犯設備の業界への日防設の存在感はますます増大していきますので、更なる国民の安全・安心に向けて大いに発展させていただきたいと存じます。



藤井常任理事の代読

2年間という短い期間ではありましたが、皆様のご支援、ご指導のおかげで無事職責を全うすることができました。誠にありがとうございました。

最後になりますが、公益社団法人 日本防犯設備協会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。

2年間どうもありがとうございました。

伊藤会長の新任挨拶

先ほど開催されました第87回理事会におきまして、公益社団法人 日本防犯設備協会 会長に委嘱されました三菱電機の伊藤でございます。

保坂 前会長の後を受け、微力ではございますが、当協会会長としての責務を果たして参りますので、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、当協会は、昭和61年に設立され、平成23年3月には公益社団法人に移行し、今年で設立33年目を迎えました。

当初、70社の正会員で発足した当協会ですが、会員は270社に拡大し、事業基盤の一つである防犯設備士制度においては、資格登録者が今年6月で約28,000名となり、各地で「防犯の専門家」として活躍いただいております。

また、防犯設備士の方々の各地域での活動拠点となる地域協会では、今年3月に秋田県が加わり、39の都道府県で地域に根差した「安全・安心」のための様々な活動を警察や自治体、他団体等と連携して行っております。

さらに、優良な防犯機器の普及促進を目的に平成20年に開始したRBSS、優良防犯機器認定制度は今年で10周年を迎えます。今日までに、防犯カメラ・レコーダは22社、610型式、平成26年から開始したLED防犯灯は9社、130型式が認定され、これらの機器を開発・製造・販売している多くの企業にご参加いただいております。

また近年は、これらの機器をご購入いただくお客様、特に官公庁や自治体でRBSS認定機器の指定や準拠が入札仕様に採用されるようになり、市場への浸透が進んで参りました。

このように、当協会が着実な歩みを進め、実績を積み重ねることができるよう、ひとえに会員の皆様のご



新会長:伊藤 泰之

理解、ご支持はもとより、警察関係や諸団体の皆様のご指導、ご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、インフラ投資をはじめ多くの準備が進められており、ますます「安全・安心な社会」が求められています。当協会は制度事業を軸とした様々な活動を通し、会員の皆様とともに、一層の治安の改善を目指してまいります。

今後とも、より安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、警察関係や諸団体の皆様方のご指導はもとより関係各位のご支援をいただきながら会員の皆様とともに事業の推進を図って参りますので、一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、会長就任の挨拶とさせていただきます。

平成30年度 会長表彰

本年は表彰規程に基づき、業績表彰に加え、部外協力者表彰及び防犯設備士表彰があり、協会の発展及び活動推進に献身的に努力され功績のあった方々に伊藤 泰之 新会長より感謝状と記念品が授与されました。

◆業績表彰

今年は15名が受賞され、表彰式には12名の方が出席されました。



下段中央左:片岡代表理事 下段中央右:伊藤新会長

○写真上段左から

宇都宮 孝志 (東芝テリー株式会社)
古新居 勝司 (株式会社アルファ)
齊藤 賞一 (株式会社ライコム)
篠塚 秀樹 (株式会社日立産業制御ソリューションズ)
瀬澤 外茂幸 (高千穂交易株式会社)

○写真中段左から

谷川 威人 (パナソニックエコソリューションズ創研株式会社)
中村 清 (キヤノン株式会社)
乗木 俊毅 (かがつう株式会社)
平野 富義 (エフビーオートメ株式会社)
藤井 慶太 (NEC プラットフォームズ株式会社)

○写真下段左

三澤 賢洋 (日本防犯設備協会 顧問)

○写真下段右

横田 和典 (三菱電機株式会社)

※ご欠席者

野崎 哲朗 (NEC プラットフォームズ株式会社)
松尾 貴行 (セントラル警備保障株式会社)
森島 俊之 (パナソニック株式会社)

◆部外協力者表彰

今年は 1 名、2 団体が受賞されました。



○写真中央

愛知県セルフガード協会（寺尾 浩典 事務局長）

※ご欠席者

大貫 啓行（麗澤大学名誉教授）

福岡県防犯設備士協会

◆防犯設備士表彰

今年は 4 名の方が受賞され、2 名の方が出席されました。



○写真中央左

清水 啓介（大阪府防犯設備士協会）

○写真中央右

福田 理佳（千葉県防犯設備協会）

※ご欠席者

川口 修史（福井県防犯設備協会）

野田 憲治（福岡県防犯設備士協会）

懇親会開催



総会終了後、13F「飛鳥」に場所を移し、懇親会が開催され、伊藤新会長の挨拶につづき、来賓として警察庁生活安全局生活安全企画課長 後藤 和宏様よりご挨拶をいただきました。

懇親会は、当協会の常任理事 野津 純一様（パナソニックシステムソリューションズジャパン）による乾杯のご

発声で始まり、1時間半にわたり、警察関係の方々や会員相互の和やかな歓談の中でご出席の皆様の親睦を深めることができました。中締めは、常任理事 堀之北 寿朗様（日立産業制御ソリューションズ）にお願いし盛会のうちに終了いたしました。



挨拶:伊藤 泰之 会長



ご来賓のご挨拶:後藤 和宏
警察庁生活安全局生活安全企画課長



乾杯:野津 純一 常任理事



中締め:堀之北 寿朗 常任理事